

ふくおか FUKUOKA 市政だより

令和6(2024)年

3/1

No.1749



震災直後の玄界島(西区)

3月20日は市民防災の日 福岡県西方沖地震を振り返る



復興後の玄界島全景

今号の主な内容

特集 | 福岡県西方沖地震を振り返る 1~3

令和5年度福岡市物価高騰緊急支援給付金	4
引っ越しごみは計画的に	5
子どもの見守りサービス「オッタバイ」	6
福岡市債を発行します	7
情報BOX	8~15
区版	16

※本紙掲載の情報は2月14日時点のものです。

・中面折り込み 福岡100企画「#100レター」特別号

人口 1,645,100人 (前月比23人減)

男=776,424人/女=868,676人

世帯数 873,701世帯 (前月比176世帯増)

※人口と世帯数は令和6年2月1日現在推計

面積 343.47km²

ダムの貯水率 57.95%

(2月14日現在)



- 市役所代表電話 ☎711-4111 (市外局番は092)
- 市政に関するご意見・要望・相談 広聴課 ☎711-4067 📠733-5580
- 福岡市政だよりの配布 毎日メディアサービス ☎0120-359-303

市長からの メッセージ

平成17(2005)年3月20日に発生した福岡県西方沖地震の記憶と経験を風化させないために、市はこの日を「市民防災の日」と定め、毎年この時期に、防災について考える講演会等を開催しています。

地震や大雨などによる災害は、いつどこで起こるか分かりません。「自分や家族の命は自分で守る」という意識を持ち、日頃から備えておくことが大切です。

避難所情報等が確認できる市の防災アプリ「ツナガル+」は、災害時に市からの支援情報を入力できるだけでなく、自分の避難場所を伝えたり、市に支援を求めたりすることができ、登録しておくことで安心です。今一度、自分の「備え」を確認してみてください。

福岡市長 高島宗一郎



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、持続可能な社会の実現を目指す17の国際目標です。福岡市は、SDGsの達成に向けたさまざまな取り組みを進めています。



3月20日は市民防災の日

福岡県西方沖地震を振り返る

平成17(2005)年3月20日に発生した「福岡県西方沖地震」から、19年がたちました。市は、地震の記憶と経験を風化させないため、3月20日を「市民防災の日」と定めています。1月には能登半島地震が起きました。改めて過去の経験を振り返り、地震への備えを確認します。

19年前の春分の日、午前10時53分に福岡県北西沖を震源とするマグニチュード7.0の福岡

県西方沖地震が発生しました。この地震で、ブロック塀の倒壊によって1人が亡くなり、家屋の倒壊や落下物によるけが、熱湯によるやけどなど、千人以上が負傷しました。

震源に近かった西区玄界島をはじめ、湾岸地域の被害が大き

く、住宅被害は市内全域で5200棟以上、漁港や港湾、道路などにも大きな被害が出ました。

玄界島は、市内中心部から北西約20キロ沖にあり、博多湾と玄界灘の境に浮かぶ外周4キロの小さな島です。玄界校区自治協議会・井上公加会長(69)と市漁業協同組合玄界島支所の松田武治会長(71)に、震災を振り返ってもらいました。



玄界島の山の斜面に建つ住宅。地震で多くの石積み土台が崩れた



中央ふ頭の岸壁沈下(博多区沖浜町)



避難所となった中央区薬院の九電記念体育館(2019年に閉館)



震災後に玄界島に降り立つ福岡県警や消防などの救助隊

——玄界島での被災当時のことを教えてください。

井上 地震の時は、市営渡船の船長として海の上にいました。波の揺れとは違う突き上げるような大きな揺れに、ただごとではないことを認識しました。島に戻ると多くの家屋が倒壊し、のどかで元気な島の風景が一変していました。

松田 私も漁船でただならぬ揺れを感じ、急いで港に戻りました。家にいた家族は、ゴースト

という地鳴りのような音が近づいてきて突然揺れ始め、たんすや棚が倒れて、つぶれかけた家の中で死を覚悟したと言います。島民は、皆顔なじみです。誰が避難所に来ていないか、すぐに分か

ります。手分けして不明者を探しに行き、大きな余震が来る前に倒壊寸前の家屋の中から救助できました。若い人たちが、高齢者やけが人をおんぶして避難所まで連れて行きました。

——震災を経て思うことはどんなことですか。

井上 島全体が壊滅的な状況の中、全員の生存が確認できま

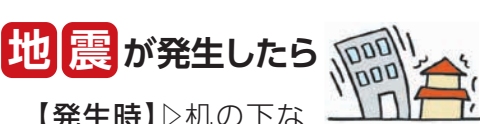


自治協議会の井上会長(写真左)と漁業協同組合の松田会長

した。島民は、学校を卒業したら水上消防団に所属し、水難救助などの訓練をします。もちろん私たちも経験者です。自然に体が動いたのは、昔からの備えがあったからだと思います。昼ごろには炊き出しが始まり、島で活動する八つの団体が協力して、救助隊が到着するまで島民全員で乗り切りました。

松田 地震当日の夕方から九

電記念体育館への避難を開始し、その日のうちに全員避難を終えました。われわれ役員は、安全を守るために島に残り、海辺にある漁協に1カ月間寝泊まりして復興への準備を始めました。平成20年に全島民が帰島し、子どもたちの声が久しぶりに島に響いた時のことを、今でも鮮明に覚えています。学んだことは「災害はある」そして「突然起こる」ということです。災害が発生したら、自分たちで動き始めなければなりません。いざという時、自分が何をすればよいか、自分に何ができるのかを、あらかじめ考えておいてください。



【発生時】▷机の下などにぐり、姿勢を低くして頭部を守る▷倒れてくる物や落ちてくる物に注意して身の安全を確保する

【発生直後】▷家族の安全を確認する▷けがをしないように靴を履く▷火の元を確認する▷ドアや窓を開けて出口を確保する

【発生後】▷持ち出し品を確認する▷ラジオなどで情報を収集する▷家を出る前にガスの元栓を閉め、ブレーカーを切る▷避難するときは車を使わない▷高齢者や乳幼児がいる家庭など、近隣の住民に声を掛ける

詳細は、市ホームページ(「福岡市地震発生時の行動」で検索)で確認を。

いつ起こるか分からない地震に対応するために

九州大学アジア防災研究センター・三谷泰浩教授(58)の話



支援が届くまでの「自助」と「共助」が重要と語る三谷教授

地震が起きたら、まずは自分の命を守ってください。生き延びるための行動が大切です。家屋の状況や年齢、体の状態など、災害リスクはそれぞれ異なります。災害発生時にどうすればよいか、一人一人、事前に考えておく必要があります。

発生からしばらくは、自分たちで乗り切らなければなりません。それには、日頃からの地域のつながりが不可欠です。地域の祭りや防災訓練などの行事に、積極的に参加してください。

被災した後、元の状態に戻るまでには、多くの時間と労力がかかります。回復力やしなやか



玄界島では毎年3月20日に防災訓練が行われる。写真は昨年、市と合同で行った住民参加型のバケツリレー消火訓練

さを意味する「レジリエンス」は、防災においても重要です。普段から、人との関わりの中で頼り頼られる関係が築けていれば、いざという時に大きな支えになります。ボランティアや駆け付けてくれた友人たちも力になってくれるでしょう。

被害を最小限にするためには、あらかじめ備えておく「減災」も大事な要素です。自分や大切な人の命を守るために、災害を他人事ではなく自分事として捉え、常に危機意識を持って備えておきましょう。

■問い合わせ先／地域防災課
☎711・4156
F733・5861

揺れやすさマップ(各区版)

マグニチュード7.2の
警固断層南東部地震が
発生した場合、どれくら
いの揺れが予想される
のか、色分けして表示し
ています。地盤の状況
や、建物の構造・建築年
などを踏まえた耐震性能の目安も分かります。同マップは、
情報プラザ(市役所1階)や各区役所情報コーナー、入部・西
部出張所で配布しています。市ホームページ(「福岡市 揺
れやすさマップ」で検索)にも掲載しています。



「揺れやすさマップ」中央区版

●警固断層帯 南東部地震について

警固断層帯は、福岡県西方沖地震の震源域「北西部」と、志
賀島南方沖～筑紫野市にわたる活断層「南東部」(約27キ
ロ)に分かれています。もし南東部で地震が起きたら、福岡県
西方沖地震よりもはるかに多くの建物が倒壊し、多数の犠牲
者が出ると予想されています。

防災・耐震改修セミナー

開 3月21日(木)午後1時30分
4時30分 定 120人

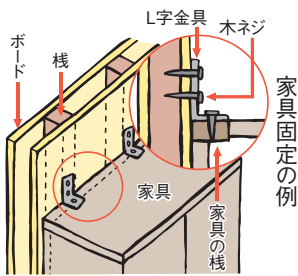
「大災害その時どうする、どう
なる」と題し、防災セミナーと耐
震改修セミナーを、アミカス
ホール(南区高宮三丁目)で開催
します。申し込みは
下記コードから。問
い合わせは、福岡県
建築住宅センター企
画情報部(☎781・5169
F715・5230)へ。



自分でできる地震対策

●家具の固定と配置

地震の際、家具の下敷きになら
ないように、たんすや食器棚など
の家具類をL字金具等で壁に固定
しましょう。壁を背にして配置した
家具や電化製品は、前方に倒れてき
ます。倒れても出口をふ
さがないように配置し、倒れてくる方向を避けて寝ましょう。



●簡単な工夫で安全性アップ

▷棚の上の方には重い物を置かな
い▷窓ガラス飛散防止フィルムを貼
る▷石油ストーブの電池を外して収
納する一等を行っておくと安心です。



地震後、たんすの一番
下を手前に引き出
しておくと余震によ
る転倒を防ぎます

市防災アプリ



市は、被災者が市に直接メッセージを送
れる防災アプリ「ツナガル+」を運用してい
ます。能登半島地震では、多くの人が指定
避難所以外に避難し、その状況や支援
ニーズの把握が難しく支援開始の遅れに
つながりました。「ツナガル+」は、どこから
でも市に支援を依頼できるほか、避難所の
混雑状況なども確認できます。詳細は、市
ホームページ(「福岡市 ツナガルプラス」
で検索)で確認を。問い合わせは、防災推
進課(☎711-4153 F733-5861)へ。



ツナガル+の画面



アンドロイドはこちら
アイフォンはこちら

個別避難計画について

平成25年に災害対策基本法が改正
され、避難の際に支援を要する人の名
簿の作成が義務付けられました。市は、
▷障害者手帳を持っている人▷要介護
認定を受けている人▷65歳以上の高齢
者一等を登載した名簿を作成し、本人の
同意を得て地域の人に提供しています。



支援ガイドブックは情
報プラザ(市役所1
階)で配布しています

災害時、避難行
動要支援者への
円滑な避難支援を
行うため、市は名
簿を活用した個別
避難計画の作成
を進め、地域防災
力の向上に努めて
います。

市は、跡見学園女子大学コ
ミュニティデザイン学科の鍵屋
一教授を講師に迎え、防災講演
会を開催します。

鍵屋教授は、被災者支援等に
関する活動が国の防災力向上に
貢献したとして「令和5年防災
功労者防災担当大臣表彰」を受
賞しました。講演では、災害時に
誰一人取り残さないために、福
祉や防災、コミュニティがどの
ように連携すればよいのか、高
齢者や障がい者など自ら避難す
ることが困難な人への避難支援

災害時に地域みんなで助かるために 防災講演会「個別避難計画のススメ」

について話します。自分や家族、
地域の安全を守るために、一緒
に考えましょう。



内閣府「被災者支援
のあり方検討会」の座
長を務めた鍵屋教授

開 3月20日(水・祝)午後1時
30分～3時(1時開場) 所 中央市
民センター3階ホール 定 先着5
00人 料 無料 申 3月15日(金)まで
にファクスかメール(☎bousai-
01@city.fukuoka.lg.jp)に氏名、
電話番号を書いてお
申し込みください。
下記コードからも申
し込めます。



問い合わせ先/地域防災課
☎711・4156 F733・
5861

自宅は地震に耐えられますか?

住宅の耐震化について

市は、地震に強いまちづくり
を進めるため、住宅の耐震化に
かかる費用の一部を補助してい
ます。昭和56(1981)年5月
31日以前の耐震基準で建築され
た住宅が対象です。

耐震化の補助内容

▽木造住宅Ⅱ2階建て以下の
木造戸建て住宅の、耐震化改修
工事や建て替えにかかる費用、
高齢者・障がい者のためのシエ
ルター設置費用の一部
▽共同住宅Ⅱ3階建て以上で
延べ面積1000平方メートル以上の
建物の耐震改修工事にかかる費
用の一部

▽ブロック塀等Ⅱ道路に面し
倒壊の危険性があるブロック塀
等の除去にかかる費用の一部
※ほか要件あり。

補助金額など詳細は、市ホー
ムページ(「福岡市 耐震化」で
検索)に掲載しています。

補助金を申請する場合は、事
前に市と協議する必要があります。
着工されたものは対象になりま
せん。耐震化を予定している場
合は、必ず事前にご相談くださ
い。
問い合わせは、建築物安全推
進課(☎711・4580 F7
33・5584)へ。

耐震診断について

福岡市耐震推進協議会は、木
造戸建て住宅を対象に3000
円で耐震診断を実施しています
(耐震診断書、補強計画書、工事
見積書を作成)。問い合わせは、
同協議会(☎0120・861・
988)へ。

ほかに、福岡県による木造戸
建て住宅の耐震診断アドバイ
ザー派遣制度(3000円ほか)
もあります。問い合わせは、福岡
県建築住宅センター生涯あんし
ん住宅(☎582・8061)へ。

また市は、共同住宅の耐震診
断費の補助も行っています。昭
和56年5月31日以前の耐震基準
で建築された3階建て以上、延
べ床面積1000平方メートル以上の
共同住宅が対象です。詳細は市
ホームページ(「福岡市 共同住
宅耐震化」で検索)で確認を。